

第1回 夢のような辻原づくり協議会

令和7年 9 月21日

夢のような辻原づくり協議会

目 次

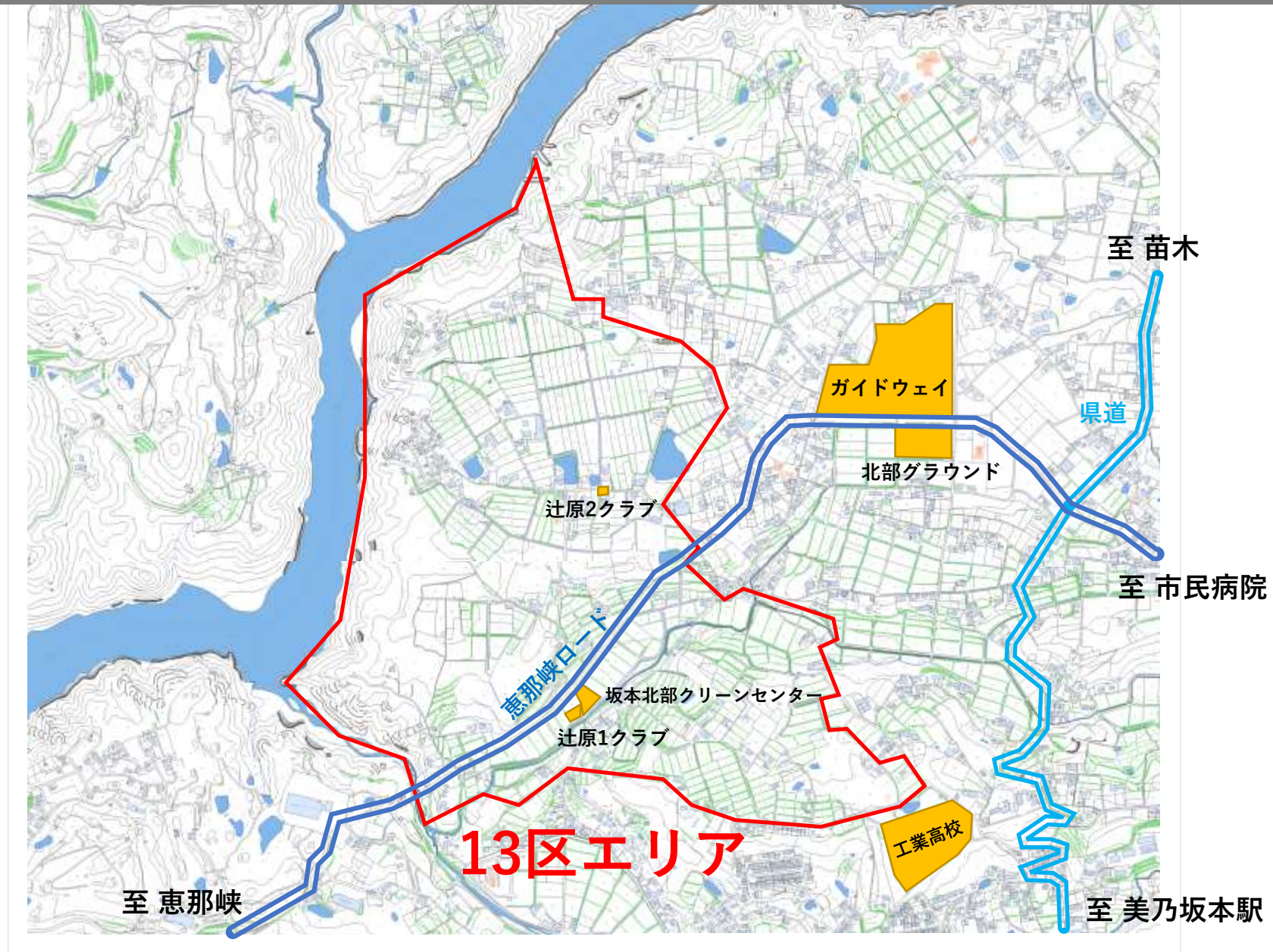
1. 辻原の意見・要望

- (1) 土地の現状
- (2) 辻原の発展の願い
- (3) 市に提出した「火葬場候補地への思い」と「辻原地域の将来への願いと要望」
- (4) 強く望むこと
- (5) 火葬場建設断念となった場合
- (6) 火葬場ができた場合
- (7) メモリアル計画に対しての反対意見
- (8) 「周辺住民の火葬場候補地への思い」と「市の願い」

2. まちづくり計画の策定

- (1) まちづくり計画の策定に向けて（案）
- (2) まちづくり協議会のスケジュール（案）
- (3) これまでいただいた地域の皆様からの主なご意見（イメージ）
- (4) 今後のまちづくりの位置づけ（土地利用の方針）案（イメージ）
- (5) 今後の土地利用と施設配置（案）（イメージ）

1- (1) 土地の現状



1- (2) 辻原の発展の願い（地元アンケートから抜粋）

※地元アンケートは、R7.2末に実施し、全122戸中41戸に回答があった。

【現状】

空き家の増加、子どもの減少、住民の高齢化、農地は耕作者の高齢化、後継ぎ不在で耕作放棄地の増加



斎場の建設に伴い、周辺地域の発展を促すことを目的に「コンパクトシティ化」を目指す。



地元へ戻りたい、都心から移住してもいい人たちの新たな受け皿となるべく、「住みたい地域さかもと」へと進化させてほしい。

働く場所、育てる場所、学ぶ場所、生活する場所 都心では味わえない環境を提供できる坂本を目指してほしい。



意見聴取の内容も含めビジョン策定をしてほしい。



「夢のような辻原づくり」へ

防災公園の整備、人が集える施設の整備、北部一帯の発展のために農業公園の整備、人口減少対策など

※「コンパクトシティ」とは、生活利便性の維持・向上を目的とし、居住や生活サービス機能を集積するというもの。高齢化が進み、将来の人口減少が社会問題になっている今、買い物、医療・福祉などの生活サービスの維持が将来困難になることが予想されている。

1-（3）市に提出した「火葬場候補地への思い」と「辻原地域の将来への願いと要望」

【最優先要望】

番号	要望区分	要望事項
1	地域環境整備	辻原1組・2組の老朽化した集会所を、防災機能付き集会施設へ建替え
2	インフラ整備	区内の道路環境整備
3		浸水想定区域や河川氾濫の対策として早期の辻原川改修整備
4		辻原橋の架け替え

※ウェルネスとは、健康と幸福を積極的に追求するライフスタイルや考え方のこと。ウェルネスの目的は、単に病気がない状態を指すのではなく、身体的、精神的、社会的な面でバランスの取れた環境を作り出し、その結果として人々が元気に働き、社会の活性化や経済成長につながることです。

【ハード面】

番号	要望区分	要望事項
1	メモリアル施設 【火葬場関係】	・火葬炉最新設備導入（無煙・無臭）
2		・イメージダウンにならないような外観
3	メモリアル施設 【付属施設】	・農産物を販売できる『道の駅』併設
4		・健康グルメ館（ウェルネス）の創設
5		・公園の建設及びアスレチック併設
6		・ウォーキングコースの併設
7	メモリアル施設 【付属機能】	・メモリアル施設の防災拠点化
8	インフラ整備	・安全な進入路整備及び道路拡張工事
9		・恵那峡ロード横断方法の検討と整備
10		・農道～工業高校までの道路拡張
11		・下洗井～辻原橋までの道路拡張
12	地域課題	・農業用水の水利不安の解消

【ソフト面】

番号	要望区分	要望事項
1	メモリアル施設	・環境影響評価の実施
2		・先進火葬施設視察会の開催
3		・イメージ払拭活動の継続
4		・火葬場建設に対する広報活動
5		・雨水排水の心情的な対策
6		・ため池浸水想定区域の対策
7	地域発展 【計画】	・都市計画の策定「コンパクトシティ化」
8		・北部地域発展計画の作成 農業後継者不足 空き家問題 10年、20年後を見据えた地域づくり
9		・恵那峡ロード「ウェルネス」化
10	地域発展 【緩和・検討・ 創出】	・農振規制緩和
11		・辻原地域の優先的な雇用機会の創出
12		・クラブの維持管理費の行政負担の検討
13	その他	・固定資産評価額の不安要素対策

1- (4) 強く望むこと（地元アンケートから抜粋）

黄色は耕作放棄、草刈のみ、景観形成植物

青色は工場など誘致



1- (5) 火葬場建設断念となった場合（地元アンケートから抜粋）

- ①農業者は、3～4人ぐらいとなり、荒廃農地が目につくようになっていく。道路沿いも雑草におおわれ、見通しが悪く、交通事故も多くなる。
- ②辻原川は、夏のゲリラ豪雨により護岸があちこちで崩れ、なかなか改修工事が進まない。（リニア関連により上流からの水が全て辻原川に流入してくる。）
- ③クラブの建替えの時期がきているが、一軒当たり50～60万円の出費が必要となった場合、年金生活者では苦しいので、組を出る人が多くなる。
- ④リニア関連で、坂本が変化していく中で、辻原は何も変わらないし、高齢者が多く空き家も増え、人口減少もあり、組の維持が難しくなっていく。色々な行事が回らなくなる。

1-（6）火葬場が出来た場合（地元アンケートから抜粋）

- ①辻原川の改修、自然を生かした護岸工事を行い、川沿いに遊歩道を付け、散歩ができるようにする。また、夏はホタルが飛ぶような自然環境にする。辻原橋の架け替え。
- ②クラブのある場所から東側を市有地にし、メモリアル公園を作り、その中にクラブを建設する。クラブは、防災を考えた新しい形の建物とする。
- ③農振をはずし、メモリアル施設の周りに色々なもの増やしていく。
- ④下洗井からの道を広げ、辻原川南側の道路を北原まで整備する。
- ⑤宅地造成も進み、新しく移住者も増えていけば、人口増加になる。
- ⑥常に市と意見交換を行い、安心・安全な地域になるよう、行政と地元が一体となった村づくりが可能になる。
- ⑦坂本北部（13～16区）を総合的に考えた地域づくりができる。
- ⑧東海地方で最新の火葬場を作り、見学者が多く来るようなものを作る。住宅地の中にあるモデルケースとなるようなもの。
- ⑨辻原2組に高齢者施設を作る。

1- (7) メモリアル計画に対しての反対意見（地元アンケートから抜粋）

- (ア) 計画箇所は土砂災害ハザードマップで浸水想定区域に指定されていることから、市の防災対策並びに都市計画と不整合である。
- (イ) 当地域は県が指定する農業振興地域となっており、農業の健全な発展を図るため開発が制限されているにも関わらず、除外してまで火葬場が建設されることは受け入れ難いことである。
- (ウ) 農業振興地域に火葬場が建設されると農業、農産物への風評被害が大きく想定される。推進しようとすることは、当地区の衰退化に拍車をかけることになるのではないか。
- (エ) 火葬場からの排水は、川の水を利用して農業をしている者にとっては、感情的に受け入れられない。
- (オ) 施設利用者等が地域の生活道路を利用することにより、渋滞や事故等のリスクが高まる。
また、霊柩車等を毎日目にするのは心情的に耐えられない。
- (カ) 該当場所は窪谷の凹状地形にあり煙突がないがために低位置ダクトからの火葬排気ガスは周辺に滞留する蓋然性がある。子どもたちの登下校時に火葬排気ガスに触れさせたくない。
- (キ) 新火葬場が将来的に葬儀場としての利用しない担保があるのか不明である。
- (ク) 近い将来、火葬場や下水汚泥処理など広域化されること並びに大規模災害やパンデミックなどで多くの火葬を受け入れなければならなくなった場合は、不安要素が助長されないか危惧される。

1- (8) 「周辺住民の火葬場候補地への思い」と「市の願い」

目線に火葬場が見えることが**心情的に受け入れられない**。

市民生活から離れた施設であり、**迷惑施設の最たるもの**である。ここに来てほしくない施設。



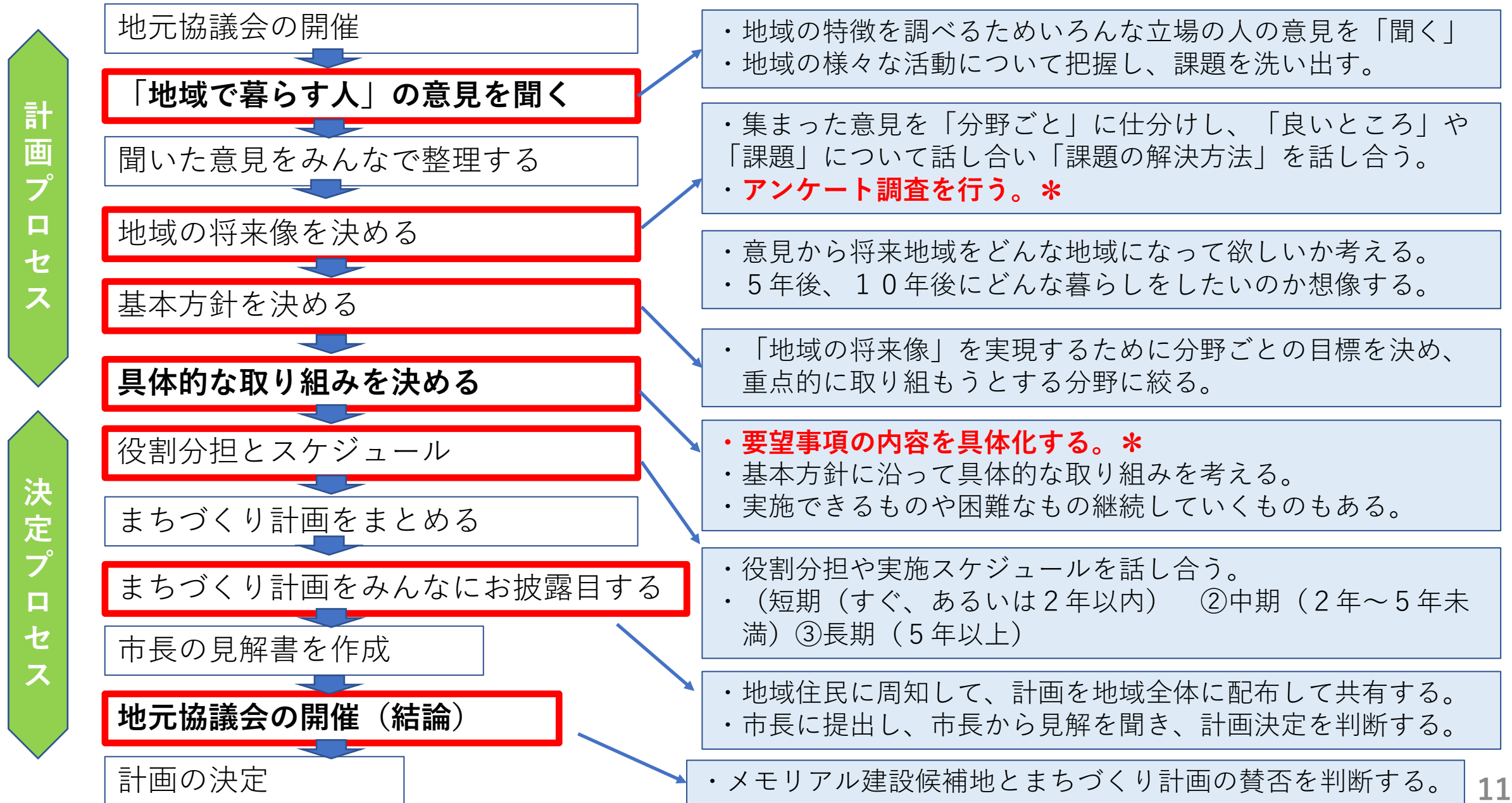
市民生活に密着した施設であり、もっと身近な施設として感じてほしい。

- ・火葬場が地域社会とのつながりを深め、住民に開かれた施設として進化することに地域全体の生活を豊かにする重要な要素となります。

誰もが利用するとても大切な施設。

- ・「やすらぎ」と「つながり」を兼ね備えた新しい火葬場の形は、これからの地域づくりにおいて欠かせない施設となります。

2- (1) まちづくり計画の策定に向けて (案)



2- (2) まちづくり協議会のスケジュール (案)

	9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
地元協議会			●		●			●				●		●			●			●	
資料配布		■			■			■			■			■			■			■	
代表者会議				●			●			●			●			●			●		
資料準備			■	■		■	■		■	■		■	■		■	■		■	■		
議題提案			▲			▲			▲			▲			▲			▲			
情報発信			■			■			■		■				■			■			■
備考	第1回会議 ・要綱承認 ・役員選出 ・協議内容確認			第2回会議 第3回会議準備 ・地域の将来像			第3回会議 第4回会議準備 ・基本方針			第4回会議 第5回会議準備 ・内容の具体化			第5回会議 第6回会議準備 ・役割分担 ・スケジュール			第6回会議 第7回会議準備 ・計画策定			第7回会議 ・市長に提出 (見解書を作成)		
	第2回会議準備 ・意見徴収			情報発信 ・地元回覧、HP			情報発信 ・地元回覧、HP			情報発信 ・地元回覧、HP			情報発信 ・地元回覧、HP			情報発信 ・地元回覧、HP			情報発信 ・地元回覧、HP		
	情報発信 ・地元回覧、HP																				
【進め方】 ①資料提案⇒②資料作成⇒③代表者会議⇒④資料配布⇒⑤協議会⇒⑥情報発信																					
※協議会は 4月以降も継続します																					

12

※協議会は、4月以降も継続します。

2- (3) これまでいただいた地域の皆様からの主なご意見

(イメージ)

緑豊かな田園風景の現状

農地の耕作放棄地や適切な管理がなされていない山林が増えている

農地の現状と課題

- ・ 農地管理の代行、担い手不足
- ・ 農業振興地域の除外
- ・ 荒廃農地の増加
- ・ 農業施設の老朽化

コミュニティ形成

- ・ 防災機能集会所整備

住みよい地域への思い

- ・ コンビニ等の生活施設の誘導
- ・ 駅・病院までのバス路線の導入
- ・ 静かな住宅地が望ましい
- ・ 公園・広場などの整備

辻原川・散策路整備

- ・ 辻原川の護岸整備
- ・ 公園・散策道路の整備

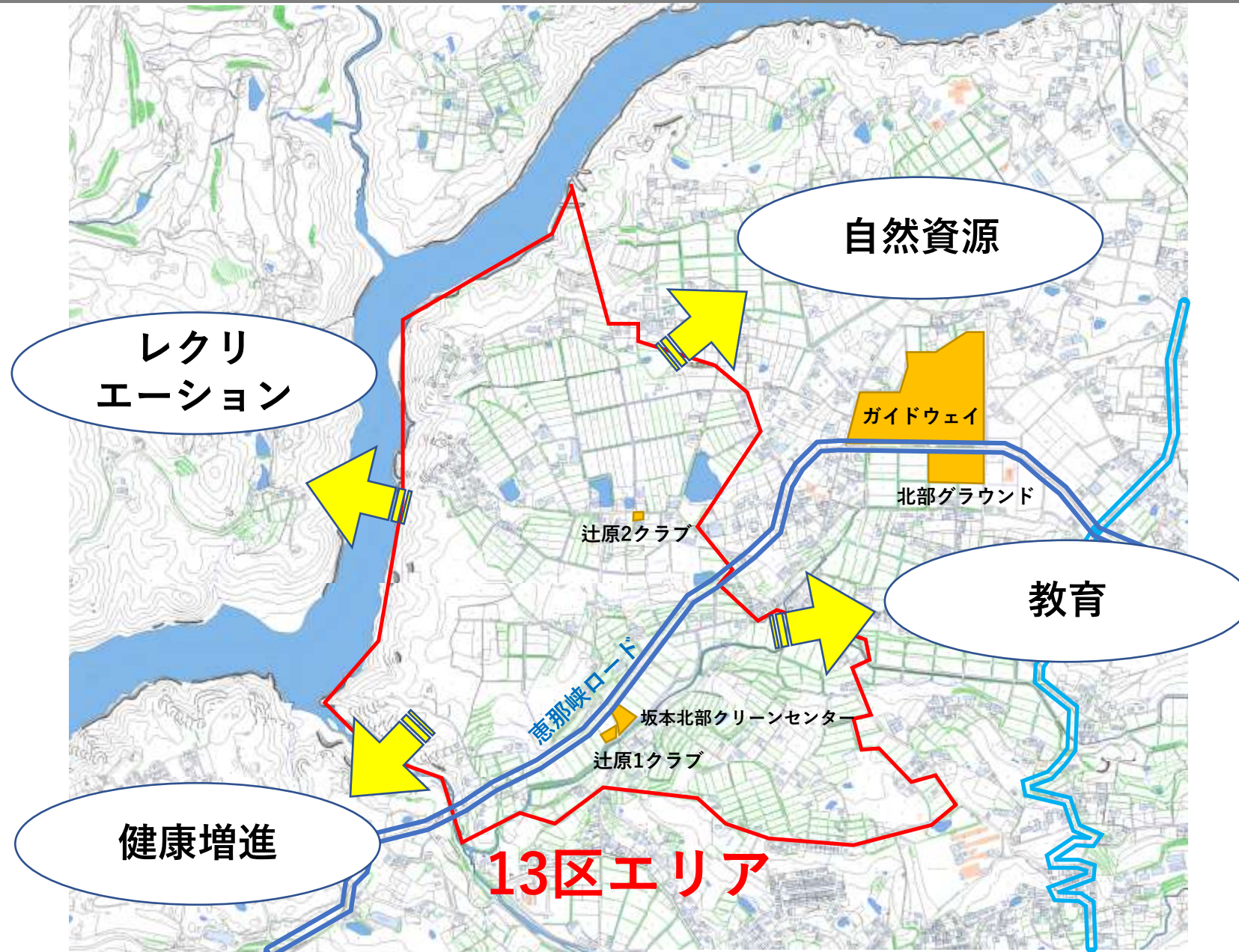
道路環境整備

- ・ 安心安全な道路環境整備
- ・ 公園・散策道路の整備

13区エリア

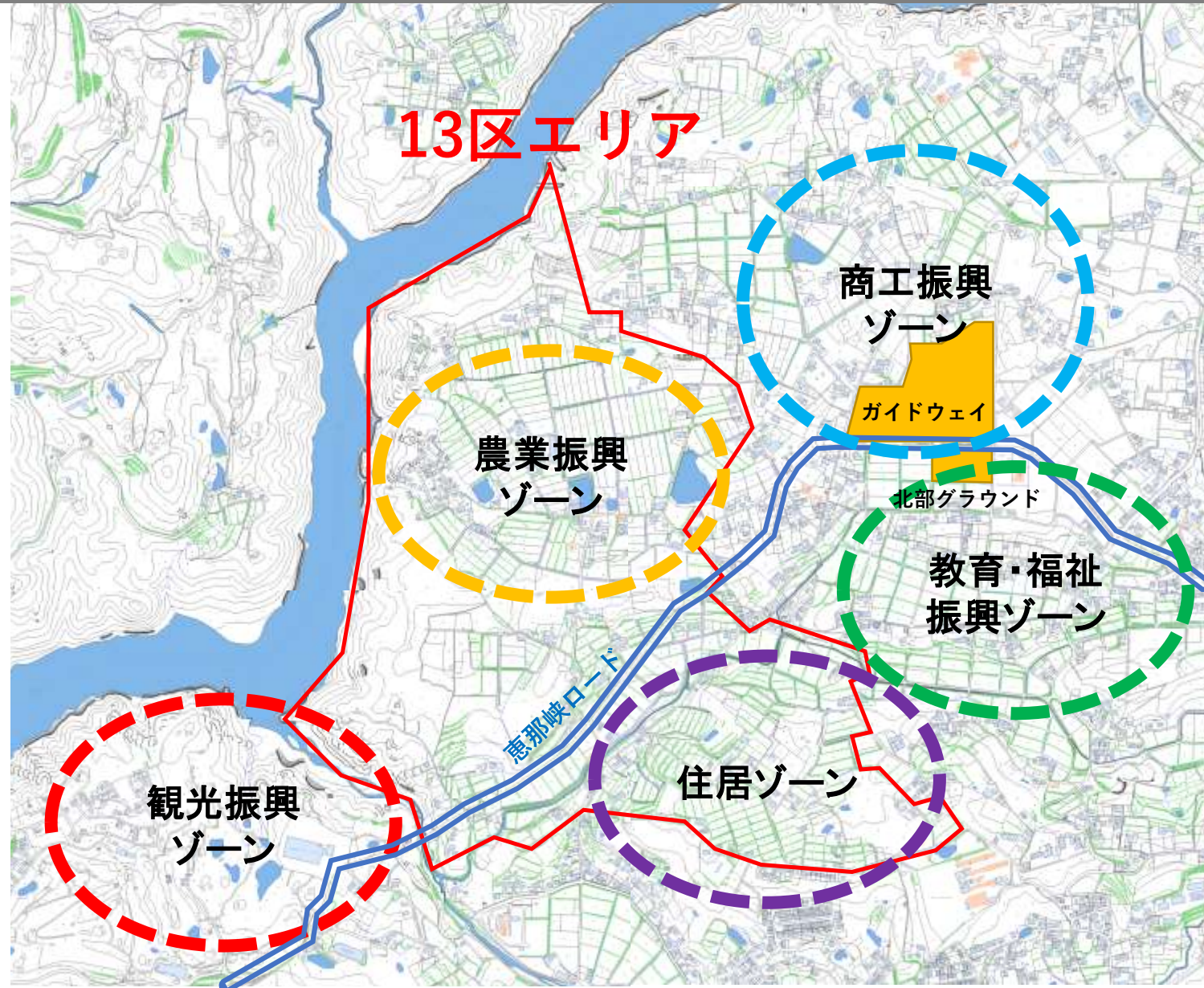
2- (4) 今後のまちづくりの位置づけ（土地利用の方針）案

(イメージ)



2- (5) 今後の土地利用と施設配置 (案)

(イメージ)



【参考】

北部エリアの航空写真

